令和7年度　高松市外郭団体　経営評価シート

1　団体情報

No.	4	種別	公益財団法人	団体名	公益財団法人高松観光コンベンション・ビューロー
所在地	香川県高松市サンポート1番1号　高松港旅客ターミナルビル7階				
電話番号	087-822-7060	FAX番号	087-822-7062	所管部局	創造都市推進局 観光交流課
団体ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ	https://takamatsu.or.jp/				
代表者職氏名	理事長　古川　康造	設立年月日	平成6年10月12日		
基本財産	542,906　千円	市出資等額(割合)	300,000　千円	（　55.3%　）	
設立目的	国内外からのコンベンションの誘致及び支援等を行うことによる高松市及び香川県におけるコンベンションの振興、観光客の誘致及び受け入れを行うことによる高松市及びその周辺地域における観光の振興、サンポート高松に人・物・情報を集めることによるサンポート高松のにぎわいの創出を図り、もって国際相互理解の増進並びに地域経済の活性化及び文化の向上に寄与することを目的とする。				
事業概要	・国際会議等の誘致及び支援などコンベンションを推進する事業　・コンベンション開催支援補助金交付事業　・観光客等の誘致及び受け入れなど観光を振興する事業　・新たな観光資源開発のための旅行業法に基づく旅行業　・サンポート高松のにぎわいを創出する事業 ・高松市及び香川県への旅行者の利便の増進並びに観光資源開発のための観光案内所の運営・管理の受託				
評価対象決算期	令和7年4月1日　～　令和8年3月31日				

2　組織の状況(4月1日現在)

	令和7年度	令和6年度	令和5年度
役員数(非常勤含む)	21 人	20 人	20 人
うち市派遣(兼務含む)	1 人	1 人	1 人
うち市退職者	2 人	3 人	3 人
役員平均年間報酬	4,335　千円	4,335　千円	4,310　千円
職員数(非常勤含む)	25 人	28 人	29 人
うち市派遣(兼務含む)	0 人	0 人	0 人
うち市退職者	0 人	0 人	0 人
職員平均年間報酬	3,543　千円	3,520　千円	3,185　千円

3　主要事業一覧及び概要

事業名	事業概要	令和7年度事業費
コンベンション推進事業	国際会議をはじめとするMICEを高松市に誘致し、開催に至った場合は、開催支援補助金を始め様々なバックアップを行う。	40,651千円
観光振興事業	県内外の旅行会社に対しての観光客の誘致やイベント等でのPR、着地型旅行商品の企画・販売、観光案内所の管理運営を始めとした受け入れ環境の整備等を行う。	34,729千円
サンポート高松のにぎわい創出事業	サンポート高松での屋外イベントを支援することにより、同地区でのにぎわいを創出する。	3,675千円

4　市の財政的関与の状況

	令和7年度	令和6年度	令和5年度
補助金	108,145　千円	106,968　千円	96,147　千円
委託料	0　千円	0　千円	0　千円
うち指定管理料	0　千円	0　千円	0　千円
その他	0　千円	0　千円	0　千円

5 財務状況

①正味財産増減計算書

区　分	令和7年度	令和6年度	令和5年度
経常収益	157,102　千円	154,244　千円	137,283　千円
経常費用	157,572　千円	154,987　千円	142,584　千円
当期経常増減額	△ 470　千円	△ 743　千円	△ 5,301　千円
経常外収益	0　千円	0　千円	0　千円
経常外費用	0　千円	0　千円	0　千円
当期経常外増減額	0　千円	0　千円	0　千円
当期一般正味財産増減額	△ 470　千円	△ 743　千円	△ 5,301　千円
当期特定正味財産増減額	19,229　千円	△ 3,308　千円	33,681　千円
当期正味財産増減額合計	18,759　千円	△ 4,051　千円	28,380　千円

※四捨五入の関係上、千単でずれる場合があります。

②貸借対照表

区　分	令和7年度	令和6年度	令和5年度
流動資産	15,589　千円	14,479　千円	22,660　千円
固定資産	660,948　千円	641,134　千円	644,372　千円
資産計	676,537　千円	655,613　千円	667,032　千円
流動負債	17,832　千円	16,350　千円	24,531　千円
固定負債	18,381　千円	17,697　千円	16,885　千円
負債計	36,213　千円	34,047　千円	41,416　千円
指定正味財産	636,901　千円	617,672　千円	620,979　千円
一般正味財産	3,423　千円	3,893　千円	4,637　千円
正味財産計	640,324　千円	621,565　千円	625,616　千円

※四捨五入の関係上、千単でずれる場合があります。

＜主な経営指標＞

区　分	令和7年度	令和6年度	令和5年度
流動比率 （流動資産÷流動負債）	87.4　%	88.6　%	92.4　%
自己資本比率 （正味財産計÷負債･正味財産）	94.6　%	94.8　%	93.8　%

6 経営評価の総括

項　目	外郭団体による総括	所管課による評価
①公益的使命･市が期待する役割への対応	定款に掲げる目的である国際相互理解の増進並びに地域経済の活性化及び文化の向上のため、国外、県外からの旅行者の誘致に取り組んでおり、行政の施策を民間の経済活動に繋げる役割を使命としており、MICE振興計画等、高松市中長期施策に基づき活動している。	当該団体が推進する地域経済の活性化、旅行者の誘致に向けた取組及びMICE振興は、本市にとって重要な役割を担っている。特に、MICE振興においては顕著な成果を上げていると評価できるが、国外、県外からの旅行者の誘致に関しては、より戦略的に取り組むことで成果を上げていく必要があると考える。 今後も、地域資源を更に効果的に活用し、地域全体の発展に貢献する活動の推進に期待する。
②業務･組織管理	業務管理に関しては、業務の効率化と生産性向上を目指し、業務内容の可視化、進捗管理、リソースの最適化、改善策の実行などを通じて、組織全体のパフォーマンスを高める取組を行っている。また、組織管理は、人材の採用･育成･評価などに課題を感じている。令和7年度より幹部職員候補者の育成を通じて、組織全体のパフォーマンスを高める取組を開始した。	当該団体は、業務管理において効率化と生産性向上を目指した取組が行われており、この点は評価できる。今後については実施事業の効果検証等を行うことで、より一層の業務の最適化と効果的な運営が行われることを期待する。 また、組織管理においては、実施する事業に対応した人材の採用やジョブローテーション等を含めた後継者育成、人事評価などを含めた組織の持続可能な運営体制の構築を目指した中長期的な計画を立て取り組んでいく必要がある。

③財務状況	主となる収入は、高松市、香川県、賛助会員からの支援であり、事業規模は、コロナ禍で一時的な減少は見られたものの、概ね横ばいで推移している。	事業規模は概ね横ばいで推移しており、外部環境の変化にも柔軟に対応できている点は評価できる。 引き続き、安定した収入の確保と財務の健全化を進めることを期待する。
④今後の方向性及び課題	MICE部門に関しては、これまでどおり、会議施設、宿泊施設等との連携により開催件数や経済波及効果額の増加を目指すとともに、今後は、持続可能な国際会議観光都市を目指す必要がある。 また、観光振興部門に関しては、これまで、他団体との棲み分けも考慮し、団体旅行中心の誘客事業を実施していたが、多くの観光客が訪れるようになったことから、ナイトタイムエコノミーの活性化など、受け入れ体制の充実にこれまで以上に取り組む必要がある。 両部門とも、新たな関係事業者と連携する必要があり、これまでと違ったノウハウが必要であることから、これらに戦略的に取り組む体制づくりを令和8年度に高松市が策定予定の観光振興ビジョンに合わせて実施する予定である。	MICE部門における、会議施設や宿泊施設との連携強化による開催件数の増加と経済波及効果の向上を目指す取組は、地域経済に対する大きな貢献を果たしている。今後、持続可能な都市としての発展を目指すためには、さらに戦略的な国際会議の誘致活動や、環境に配慮した取組が必要である。 観光振興部門においては、観光客の増加に伴う受け入れ体制の充実が重要な課題となっている。特に、ナイトタイムエコノミーの活性化を含む地域全体での観光振興施策の強化は、観光客の滞在延長や消費拡大に寄与する重要な施策である。今後は、観光客の多様化するニーズに応じた柔軟な対応が求められる。 新たな戦略的アプローチが必要な中で、体制づくりや人材の育成が今後の重要な課題となり、これらの課題に対応することが必要である。

【再掲】各指標の推移







